

KSN 通信 VOL.138

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

今年のノーベル化学賞の受賞者の一人に、旭化成名誉フェローの吉野彰氏が選ばれました。日本人の化学賞受賞は 9 年ぶりとなります。授賞理由は「リチウムイオン電池の開発」ですが、吉野氏は、今回共同受賞したジョン・グッドイナフ氏らが発見した「コバルト酸リチウム」という化合物の電極と、炭素繊維の電極を組み合わせ、現在の「リチウムイオン二次電池 (LIB)」の基本概念を 1985 年に確立しました。小型で容量の大きいリチウムイオン電池は、今ではスマートフォンやノートパソコンといった IT 機器には欠かせないものとなっています。



■ KSN からのお知らせ

■ 工場の定期メンテナンス工事が完了しました

弊社工場の定期メンテナンス工事に伴い、令和元年 10 月 18 日 (金) ~ 10 月 26 日 (土) の期間中、施設への搬入に制限を設けさせていただいておりました。工事期間中、関係者の皆さまには多大なるご迷惑をお掛けいたしましたことを心よりお詫び申し上げますとともに、ご理解とご協力を賜りましたこと深く感謝いたします。



■ 環境ニュース

■ 「食品ロス」削減のための啓発活動

10 月は「食品ロス削減月間」です。

本来食べられるにもかかわらず廃棄される「食品ロス」は平成 28 年度には約 643 万トン発生しており、そのうち約 352 万トンが食品産業から発生したと推計されています。食品産業からの食品ロスには小売事業者からの廃棄も相当程度含まれており、これを削減するための取組が進められています。飲食店等における食品ロスを減らすためには、飲食店等と消費者が連携し、国民運動として取組を進めることが重要なため、農林水産省は、このような取組を後押しするべく、『全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会』と共同で、飲食店舗における食品提供、食材使いきりの工夫等を例示した「飲食店等の食品ロス削減のための好事例集」の第二版を作成し、10 月の「食品ロス削減月間」にあわせて公表しました。また、消費者の過度な鮮度志向や購買行動が食品ロスにつながっていることから、小売店舗で消費者に呼びかけを行うことで、消費者の食品ロスに対する意識が高まり、廃棄の削減につながっていくと考え、全国の小売店に対し、ポスター等による啓発活動の実施を呼びかけています。消費者としては、これらの啓発活動により食品ロス削減についての意識を高め、食品ロスが発生しない購買をこころがけるようにしていくことが大切です。

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町 4 丁 2 番 5

TEL：072-320-9001 (代表)

FAX：072-320-9004